

哲学思想基本研究Ⅱ(その4)

2 units 3rd-year(2nd semester)

Michio Ishida · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) カントの『人倫の形而上学』第二部「徳論の形而上学的基礎論」を読んで、倫理学の基本概念についての考え方を学ぶ。

Outline) カントの「徳論の形而上学的基礎論」は徳や義務について詳細に論じている。徳論は、内的立法のみが可能な法則を対象とし、行為主体に選択の余地がある義務を主題としている。徳論にかかわる義務は自己自身による強制が可能である。『人倫の形而上学』第二部を読むことによって、徳義務のさまざまな問題を考えてみたい。

Keyword) カント, 徳, 義務

Relational Lecture) “哲学思想基本研究Ⅰ(その4)”(0.5), “哲学思想基本研究Ⅲ(その4)”(0.5)

Notice) 演習形式で授業を進めるので、演習時間毎に予習が不可欠である。学生諸君の積極的な参加と準備・議論を期待する。

Goal) カントの徳の概念について自分で考え、討論することができる。

Schedule)

1. ガイダンス
2. 2~3 徳論への序論(8):良心について
3. 4~5 徳論への序論(9):尊敬について
4. 6~7 人倫の形而上学の一般的原則
5. 8~9 徳一般について
6. 10~11 徳論を法論から分ける原理について
7. 12~13 徳と自分の支配
8. 14 徳と無情念
9. 15 レポートの課題提示
10. 16 総括授業

Evaluation Criteria) 毎回の出席状況、議論状況を基本に評価し、学期末にレポートを課す。

Re-evaluation) 行わない。

Textbook) 授業の時に資料を配付する。

Reference) 『世界の名著 32 カント』中央公論社

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218884>

Contact)

⇒ Ishida (2328, +81-88-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 水曜日 14時~15時)